

Estrutura necessária por escritório, para ampliação nos municípios de abrangência dos escritórios de Natividade, Pium, Guaraí, Itaguatins, Porto Nacional, Xambioá e Alvorada do Tocantins:

- 1 Computador
- 1 Veículo Leve
- 1 Antena Parabólica
- 1 Tv
- 1 Vídeo Cassete
- 1 GPS
- 1 Tela de Projeção
- 1 Retoprojetor
- 1 Motor Estacionário (Gerador)
- 1 Impressora
- 1 Máquina Fotográfica
- Móveis Adequados

Obs.: Estes equipamentos serão disponibilizados pelo RURALTINS.

Estratégia metodológica traçada para viabilizar a ampliação do projeto para os municípios alvo:

- ✓ Ampliação da equipe através de concurso publico;
- ✓ Realização de estágio contínuo para os novos técnicos responsáveis por Itaguatins, Guarai, Porto Nacional, Xambioá e Alvorada, nos municípios de Natividade e Pium, durante 04 meses;
- ✓ Realização de cursos pelo RURALTINS e UNITINS, para os técnicos envolvidos no projeto (Qualificação e requalificação);
- ✓ Atuação dos técnicos responsáveis pelo projeto em Natividade e Pium, junto aos responsáveis pelos municípios de sua abrangência;
- ✓ Expansão da área de atuação dentro dos municípios de Natividade e Pium, em 2005.

Recursos disponibilizados para alcançar a meta proposta:

Instituição	Programa	Ação	2005	2006	2007
RURALTINS	Modernização administrativa	Aparelhar e Reaparelhar os Escritórios	553.609,00	470.769,00	514.694,00
	Programa Administrativo	Ações de Informática	37.200,00		
	Valorização da Agricultura Familiar: organizar, produzir e agregar	Fortalecimento do sistema de suporte técnico para a agricultura familiar - FORTER	993.600,00	1.521.974,00	1.721.780,00
Instituição	Programa	Ação	2005	2006	2007
SEAGRO	Desenvolvimento Rural e Tecnológico	Ampliação do Projeto FORTER	1.500.000,00	2.520.000,00	-
Instituição	Programa	Ação	2005	2006	2007
UNITINS AGRO	-	-	80.000,00	-	-

トカンテンス州小規模農家農業技術普及システム強化計画

プロジェクトの要約	術 種	入手手段	外額要因
<p>上位目標 トカンテンス州において小規模農家への農業技術支援システムが確立される。</p>	<p>RURALTINSのローカル事務所が、2010年3月までに改善された農業普及システムを適用する。</p>		<p>RURALTINS年報レポート</p>
<p>プロジェクト目標 小規模農家への農業技術支援システムがトカンテンス州のパイロット地域のレファレンスファームを通じて確立される。 ※本PDMでいうレファレンスファームとは、実証圃農場、展示圃農場、協力拠点農場（レファレンスファーム）をさす。</p>	<p>1 プロジェクトのパイロット事務所がピウンで100戸、ナチヴィダージで83戸の農家にサービスを提供する。 2 本プロジェクトで確立された農業普及システムをトカンテンス州が採用する。</p>	<p>インタビュー（プロジェクト報告書）</p>	<p>1) 国/州の農業政策が変わらない。 2) 強化された農業普及システムが各地の状況に応じつつトカンテンス州の他地域に適用される。</p>
<p>成果 1 普及員の能力が強化される。 2 農民アソシエーションが強化される。 3 農民が必要としている農業技術が開発される。 4 農業技術と情報を普及する手法が改善される。</p>	<p>1-1 最終年度における、普及員1人当たりの対応農家数がピウンにおいて500戸、ナチヴィダージにおいて400戸になる。 ※農家戸数（500戸、400戸）は同一農家に複数回対応した場合、累計回数を数える。 1-2 パイロット事務所（ピウン・ナチヴィダージ）の普及員がサービスを提供する農家の70%が満足する。（満足度はアンケート調査により確認） 2-1 ピウンでは既存のアソシエーションの強化と新規1アソシエーションの設立が行われ、8つの目的別グループが組織される。ナチヴィダージでは、新規に6アソシエーションが設立され、12の目的別グループが組織される。 2-2 アソシエーションが組織されているコミュニティにおいて、アソシエーション会員の70%が目的別グループに加入する。 2-3 1アソシエーションにつき年間6回の目的別グループ活動が行われる。 3 ピウンで14件、ナチヴィダージで12件の、普及員が活用できる技術事例が実証される。 ※実証された技術とは、複数の技術を組み合わせられた技術の場合これを1つと数え、投入した技術の合計数とはしない。 4-1 プロジェクトからサービスを受けた農民の70パーセントが満足していると確認される。 4-2 ピウンとナチヴィダージで、それぞれ10の技術事例が対象農家の60%に採用される。 ※対象農家の50%以上が開発/改善された技術例を使用すれば、その技術は“採用された”とみなす。</p>	<p>プロジェクト報告書 アンケート調査（プロジェクト報告書） アソシエーションの活動記録 プロジェクト報告書 アソシエーションの活動記録 プロジェクト報告書/普及員の活動記録 プロジェクト報告書 プロジェクト報告書</p>	<p>普及員が頻りに交代しない。</p>
<p>活動 1-1 普及員の業務プロフィールを作成する。 1-2 普及員向け研修プログラムを計画する。 1-3 普及員向け研修プログラムを実施する。 1-4 研修プログラムの結果を評価する。 2-1 農民アソシエーションのグループ活動に関係するセミナーを実施する。 2-2 農民アソシエーション内に農民のニーズに応じた目的別グループを形成する。 2-3 各目的別グループのアクションプランを作成する。 2-4 アクションプランに沿って目的別グループの農民に対し技術指導と研修を実施する。 3-1 普及員と研究員が連携しながらワークショップや視察を通じて小規模農家の農業状況に関する調査を行う。 3-2 活動3-1の結果に基づき、必要な技術特定する。 3-3 適切な技術を開発する。 4-1 農民への技術/情報伝達に関する既存のアプローチを分析する。 4-2 レファレンスファームを設置し、開発技術を表示する。 4-3 農民に技術/情報伝達の新しいアプローチを提示する。 4-4 活動4-1-4-3を通じて得た教訓を分析しまとめる。</p>	<p>投入 日本側 *長期専門家 1) チーフアドバイザー/農業普及 2) 研修/業務調査 *必要に応じて、短期専門家 *日本でのカウンターパート研修 *機材 1) パソコン 2) コピー機 3) 視覚機材 4) 車両 5) その他必要機材 *ローカルコスト プロジェクトに係る研修/ワークショップ活動費用の一部</p>	<p>ブラジル側 *人材 1) プロジェクトダイレクター 2) プロジェクトマネージャー 3) 中央事務所のカウンターパート5名 EMBRAPA - 研究員1名 RURALTINS - 普及員1名 RURALTINS - クラーク1名 UNITINS - 研究員1名 4) パイロット2事務所のカウンターパート10名 EMBRAPA - 研究員2名、RURALTINS - 普及員4名 RURALTINS - クラーク3名 ※土地、建物、施設等プロジェクト実施に必要なもの 1) プロジェクトに係る経費の一部 2) カウンターパートの給与他必要経費 3) 研修員のアローワンス、経費 4) 機材修理に必要な経費</p>	<p>1) 普及員のスキルアップに対するモチベーションが持続する。 2) 農民が州政府から現状レベルのサービス（トラクターのレンタル、肥料の支給等）を受けられる。 3) 小規模農家に適した農業技術がEMBRAPAとUNITINSによって提供される。 前提条件 1) 関係機関に組織的な変更が発生しない。 2) プロジェクト活動に係る給与や経費の予算が迅速に確保される。 3) 現在のPRONAFによる十分/適切な財政支援を、農民が、必要が生じた時に受けることができる。</p>

